



Sabae Rotary Club

RI 第2650地区 2016-2017年度 鯖江ロータリークラブ



国際ロータリーのテーマ

RI第2650地区のスローガン

人類に奉仕する
ロータリー

夢を語り、現在を刷新
Review From the future and Renew



鯖江ロータリークラブ会長方針
老壮青 今、日々を大切に
「感謝で繋ぐ」

その為に...

会長 田村 康夫

第2780回
11/25(金)

11月第4例会 点鐘:12:30

テーマ 「これからの公民館」
卓話 鯖江公民館館長 **岸松 茂 様**

12月第1例会 点鐘:12:30

テーマ 「獣医師という職業について
～意外に知られていない?あれこれ・・・」
卓話 野呂動物病院院長 **野呂 和夫 様**

第2781回
12/2(金)

4つのテスト

出席率86.2%

11/25(金)
第2780回
例会報告

鯖江公民館 2階・3階

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ - タ リ - ソ ン グ
好意と友情の握手タイム
会 長 の 時 間
幹 事 報 告
閉 会 点 鐘

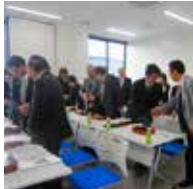
ロータリーソング



「それでこそ
ロータリー」

佐野 直美
前ソングリーダー

好意と友情の握手タイム



ここにBOX報告

帰山 明朗 鯖江公民館長・職員の皆様ありがとうございます。
大橋 良史 岸松様の卓話を楽しみに
齋藤多久馬
窪田 健一 小計 ¥ 9,000
瀧谷 えみこ 累計 ¥ 549,000

ゲスト及びビジター紹介と会長の時間



大島 恒彦 次年度会長

本日卓話をしていただくのは、岸松 茂 鯖江公民館長。

昨日関東に雪が降り、11月に降るのは54年ぶり、積雪観測は初めてと報道されていた。交通網が非常に混乱していたのを見て、福井にも雪がやってくることを思うと、嫌だなと感じた。柿になる年は雪が多いと言われ心配していたが、先日家の庭にモズの早贄がかなり低い位置にあったので、雪が多いのか少ないのか判らなくなった。

関東のほうでは、スノータイヤやチェーンを付けないための事故が多発しているとのことで、我々も早めの準備が必要だと思う。

幹事報告



帰山 明朗 幹事

本日は鯖江公民館で移動例会とさせていただいた。実施に当たり、多大なご理解とお力添えを賜った、鯖江公民館館長 岸松茂様、ならびに公民館職員の皆様にお礼申し上げる。

お手元のボールペンは公民館落成記念のもの。好意でいただいたので重ねて

お礼申し上げます。

本日の卓話は2階会議室から、3階の大ホールに移動して行く。みなさんのお食事の進み具合を見計らって声をかけるので移動をお願いします。なお、新しいホールの観覧席は収納可能な移動式となっているので、その出し入れも皆さんにご覧いただき、その椅子に座って卓話をお聴きいただく予定なので宜しく願います。

来週の12月第1例会は、当クラブ規約に基づき、次年度会長候補者及び次年度理事候補者を発表するので、指名委員会及び次年度会長には宜しく願います。なお、その選出は翌週の12月第2例会の年次総会において行う。

来週の例会終了後は理事会を開催するので、役員理事の皆さま宜しく願います。

委員会報告

社会奉仕委員会

清水 康弘 委員長



鯖江高校から嬉しい御礼状が届いたので発表する。

8/23に行われた、就職模擬面接にて、男子4名女子8名の面接を行った。内男子3名、女子8名が第1希望に内定したという報告があった。また、ダメだった男子1名は学校推薦で大学進学が決まり、模擬面接を受けた皆さんが、希望のところへ行けることを大変うれしく思う。ご協力いただいた会員の皆様へ感謝申し上げます。

福井県内RC例会日

無印:12:30ー開始

K :18:30ー開始

L :19:00ー開始

月曜日	福井東RC(AOSSA)	若狭RC(サトルやまね・7-12月サトルせくみ屋)	敦賀RC(福井銀行敦賀支店)	金曜日	福井あじさいRC(ホテルパ・ジュアネ)	
火曜日	福井南RC(福井織協ビル)	水曜日	福井北RC(サ・グランアース・アライ)	木曜日	福井RC(ユアーズホテル福井)	福井西RC(パ・ド・グランホテル・レジナ)
K	福井フェニックスRC(サ・グランアース・アライ)	K	丸岡RC(丸岡城のまちコミュニティセンター)	L	福井水仙RC(福井パレスホテル)	三国RC(三国観光ホテル)
	勝山RC(勝山市民活動センター)		大野RC(大野商工会議所会館)		武生府中RC(越前たけふ農協会館)	
	武生RC(武生商工会館)		鯖江北RC(神明苑)		L	敦賀西RC(ニューサンピア敦賀)

プログラム

テーマ

卓話

鯖江公民館
館長

岸松 茂 様 「これからの公民館」



講師の紹介

孝久 治宏 プログラム委員長

本日の卓話者は、会場を借りている鯖江公民館館長 岸松茂様。(1950年)昭和25年4月生まれ、住まいは深江町。鯖江市内小中学校の校長を務め、永らく鯖江市かるた協会会長として、子どもたちを中心に「百人一首」を指導。

私は、同公民館と職場は近いがあまり縁がなかった。そんな中、平成23・24年に旧鯖江公民館トイレを借りて掃除研修をした。同23年の館長が牧野雅臣さん、同24年が岸松さんだった。岸松館長は、新旧の公民館長を務め現在5年目。今日は「これからの公民館」のテーマで、卓話願う。



「これからの公民館」

鯖江公民館 館長 岸松 茂 様

私は学校の教諭を38年間務めてきた。最初は県外に勤めていて、その後福井に帰り、6年間県立学校に勤めた。その後鯖江市に来て28年間過ごした。我々がやってきたのは、学校教育という教育をしてきた。教育にはいろんな分野があり、社会教育、家庭教育等がある。私は学校教育をずっとやってきていて、鯖江市の社会教育主事(鯖江市の社会教育について指導)という仕事をした。(H2~8年)世界体操選手権を挟んでの6年間、私は勉強させていただいた。そして今現在、公民館の館長という立場で社会教育を行っている。

「公民館」と言われると、どのような施設を思い浮かべるだろうか?高齢者が集い、いろいろな活動をしている所と、思われるのではないだろうか?かつては若者や女性が集い、社会教育を受ける場だった。今は、生涯学習社会。生涯学習の拠点が公民館である。仲間が集まり、学びたいことを自分たちで、様々な活動をする場になっている。戦後はこの公民館活動が社会教育の盛んな時期があった。それは、「青年学級」「婦人学級」である。女性の地位向上のために、いろんな女性に対して事業を進めていく。又、若者、特に繊維産業の集団就職で来られた方のために、工場の寮や公民館で行うなど、若い子たちの教育が非常に熱心だった。しかし、最近、社会教育というものが、段々薄れてきている。青年団はなくなり、若い人に対する教育の場がなくなってきたのが現状だ。そして、学校教育のあと、ポンと社会に放り出されてしまう。その時に、何も社会教育の機構がないから、子ども達が社会に出たとき苦労するのではないかな、と感じている。

お手元のプリントに以下の文を書かせてもらった。

- 過去と他人は変えられない しかし 未来と自分は変えられる
- 知ることを学ぶ 為すことを学ぶ 共に生きることを学ぶ 人間として生きることを学ぶ
- 学びは ある時期になったら 終了するものではない
- 学びは 進学や仕事につくためのものではない
- 学びは 単に知識や技術を習得するためのものではない
- 学びは 個人が豊かになるためのものではない
- 学びは 生きる力と 他者との関わりあいの 知恵を身につけるためのものである
- 無理しない しかし 怠けない

これは、私が公民館長になってから、いろんな方のお話を聞く機会があった中で、生涯学習の考え方に合っているなどと思った言葉を拾い上げたものだ。学習って何のためにするのかということ、書いてあると思う。最終的には、人間としてどう生きるか、また人との関わりをどのようにしていくか、そこが一番生涯学習の

根本ではないかと思う。特に、生涯学習を進めていくうえにおいて、考えないとならないのは、

○無理しない しかし 怠けない である。

我々得てして何か仕事をするときに、「無理せんとこう」という言葉を使う。その無理せんとこうという言葉の中で、怠けていないか、手を抜こうとしていることはないか、ここらへんで止めとこう、ではない。本当は、全部やる。しかしながら、身体に変調を来してまでは、してはならない、怠けてはいけないということだ。私もこの言葉を聞きながら、自分も随分怠けてきたなあ、自分を甘やかしてきたなあ、と反省した。

皆さんのこの活動、例会に参加させていただいて、あれだけのことをやるんだと感心して見ていた。やはり、こういう会に参加する事態が、生涯学習の一環だと私は思う。生涯学習というのは、自分が勉強しようと思ってやるものではない。偶然学習することになったという事も、生涯学習だと思う。公民館はそういう場を作



れると思う。いろんな人が、いろんな趣味を持った人が集まって、自然と会話したり、物を教わったりする機会がある場所だと思う。生涯学習をしなくてはいけないんだと、ノートと鉛筆を持って机に座るばかりが学習ではない。だから、片意地貼ってしなきゃならないことはない。

先ほど紹介いただいた通り、「百人一首」を小学校からやっている。小学2年の時100枚覚えた。今でも、何もなしで読める。私の小さいころ、藤岡さんという整骨院があって、そこのおじいちゃんがずっと「百人一首」を読んでいた。整骨院へ行って百人一首を聞くと、キャラメル2個もらえるのが嬉しくて、毎日通った。子供会でいろんな指導の方が来てくださり、県の大会とか出場していた。その恩返しをしたいと思い始めたのが、「日本かるた協会」の仕事だ。

そのほかに鯖江市の陸上競技協会にも所属している。陸上は中・高時代にやっていた、水落の山本先生ご指導の下、陸上を進めてきて、お世話になったなあという思いから、役員をさせてもらった。皆さんもそういう思いがあって、回っていくのではないだろうか。回っていく社会を作っていく歯車になれば良いと思う。

公民館は、行政が求めている内容と、地域住民が求めている内容が微妙に違う。行政は市の出先機関として、健康課・福祉課等いろんな課の窓口という使い方を求めているため、曜日や日時を定め、地域住民に知らせたうえ、使うときには専属の者を派遣してほしいと要望中である。そうでないと、公民館独自の仕事、貸し館でありながら、生涯学習の種をまいていただいている人たちの手助けをしていく等の仕事ができない。

深江町に住んでいるが、昔と比べ随分変わってきている。昔は本町から深江町にかけての繁華街で、町内に家を建てるために必要な業種が全部そろっているといわれていた。今は戸数も減り、とても家を建てられる業種はそろっていない。あの時のように、もう一度活性化したい、生き生きと活動できる町内にしたい。

私は、社会教育と生涯学習のバランスのとれた施設にしたいと、努力している。『人間として生きることを学ぶ』、『生きる力と、他者との関わりあいの知恵を身につける』ことを目的に、公民館に集まっていたらと、考えている。

老いも若きもが、誰でも気軽に訪れて、地区活動の中心的施設となれるよう、努力していくつもりなので、これからも公民館活動にご理解並びにご協力いただければ幸いです。